

平成24年度「家庭教育支援者リーダー等養成講座」第4回報告

11月9日(金)に第4回目の講座を行いました。

(午前) 家庭教育支援者とICTのつきあい方
活用の意義と知っておきたい落とし穴～

～ICT

【講師】古野陽一さん(NPO法人子どもとメディア専務理事)



まずはじめに、講師自身の子育て経験を交えて、メディア依存の子育てがもたらす子どもへのさまざまな影響について、語っていただきました。

また、0～1歳半までは愛着形成期といわれており、愛着が不足すると子どもは発育不良に陥る危険性があることを指摘されました。この時期の親子の関わりが非常に大切なものだとの再認識しました。



今の子育て世代は、携帯世代といわれている30歳未満の母親と、ゲーム世代の40歳未満の父親という割合が高くなっています。ICTを通じてしか情報を届けられない状況が生まれている中、支援者としては、そのことで保護者のICT依存度を高めてしまうのでは、というジレンマが生じてしまいます。しかし、情報を届けないことには始まりません…。(困った)

そこで、パソコンやスマートフォンなどICTの操作が得意な保護者を見つけて、活動に取り込む方法を考えてみました。



ICTを保護者とのアプローチのきっかけとし、コミュニケーションを図りながら活動に参画してもらうケースも可能かもしれません。

一方で、ICT活用のリスクを理解した運用の必要性についても教えていただきました。特に、コミュニティ型(SNS)で双方向のあるサイトは個人情報漏えいなどのリスクが高く、しっかりした管理者の配置が不可欠だということです。家庭教育支援者としてICTとどのようにつきあっていくか考える機会となりました。

(午後) 家庭教育支援関係者のネットワークづくり～つながりあって元気になろう～

【情報提供】向井文子さん(佐賀県まなび課企画担当主査)



家庭教育支援関係者やCSO同士をつなげるネットワーク推進事業など県の取組みについて紹介があり、「日ごろからいろんなものに興味を持って情報を取り入れ、流す情報についても考えておくことが大事」と呼びかけられました。

そして、前回のワークを振り返り「今、受講者のみなさんで、なごやかに協力してやっという空気が生みだされている。これが支援者みんなであつながつて元気になろうという姿の一つだと思う」と述べられました。



後半の時間はグループに分かれプログラムづくりのワークを行いました。

前回の講座で決まったグループに分かれ、提示された条件の中で、自分達がやりたいことをプログラムに最大限生かすためにはどうしたらいいのか、話し合いを進めました。



「予算が足りない 〇」→「違うやり方も考えてみない！」

「会場の設営はどうする？」→「会場を実際見てみよう〇〇」

「講師は誰に依頼する？」→「自分達でやってみる 〇」

など、活発な意見交換が各グループで交わされていました。

講座の感想・気づきなど

📄 講座アンケートより 📄

- ICT活用のリスク、公的に使用する時の注意点などがよくわかりました。
- ICTを使いこなしている保護者を仲間に呼び込む方法は具体的でなるほどと思いました。
- グループワークは会話のルールを守り、楽しい話し合いができました。講座の仕上がりがとても楽しみです。
- みんなで話し合いながら計画を進めていく中で交流ができました。
- あまり発言をすることができませんでしたが、次は自分の意見を述べたいと思います。

[← 戻る](#)

[↑ このページの上部へ](#)

アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

 [アクセス・交通機関のご案内 ▶](#)

 [お問い合わせ/ご意見・ご要望 ▶](#)

アバンセ
佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)
12月29日から翌年1月3日まで